

令和6年度（令和7年度集計）体罰およびセクシュアル・ハラスメント等 に関する調査結果について

千葉市教育委員会では、令和6年度分の市立の小・中・中等教育・特別支援・高等学校の児童生徒および教職員を対象とした体罰、セクシュアル・ハラスメント等に関する調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 調査の目的

本調査は、児童生徒と教職員との関わり合いの中で起こる体罰やセクシュアル・ハラスメント等に関する実態を把握するとともに、具体的な対策を講じ、より良い学校環境をつくるために実施する。

2 調査方法等

（1）調査対象者

市立の小・中・中等教育・特別支援・高等学校に在籍する児童生徒および教職員（臨時・会計年度任用職員を含む）

※小学校・特別支援学校は保護者も含む。

（2）調査対象期間

令和6年4月1日～令和7年2月21日

（3）実施方法

- ・アンケート調査とし、氏名は「無記名も可」としている。
- ・モデル校9校（小学校2校・中学校2校・高等学校2校・特別支援学校3校）において、オンライン申請による回答を実施した。

（4）回収方法等

- ・全校種の児童生徒は自宅で回答記入し、担任を介さず管理職が各教室を回り回収した。また、教育委員会へ郵送による提出も可能とした。
- ・教職員の回答は、管理職が回収した。また、教育委員会「スクールレスキュー」へ郵送による提出も可能とした。
- ・オンライン申請による回答は、「ちば電子申請サービス」を活用した。教育委員会が回答データを集約し、そのデータを各学校へ送付し事実確認および報告を依頼した。

3 調査結果等 ※詳細は、別添資料参照

(1) 体罰調査（児童生徒・保護者）

体罰と判断される行為 0件（前回調査0件）

(2) セクシュアル・ハラスメント等

	児童生徒・保護者		教職員	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
小学校	5	5	9	17
中学校・中等教育学校	6	5	22	16
高等学校	0	0	2	3
特別支援学校	0	0	0	3

※児童生徒・保護者への調査結果を踏まえ、児童生徒本人と面談をする等状況を確認したところ、教員から児童生徒に対するセクハラおよびセクハラ以外のハラスメントの具体的相談について、処分等に当たるものはなかった。

※教職員への調査結果を踏まえ、各学校において管理職等による聞き取りを行ったところ、処分等に当たるものはなかった。

4 今後の取り組み

(1) 各学校での取り組み

- ・人権やコンプライアンスに関する各種研修等を積極的に受講し、教育活動を人権の視点で見つめ直す。
- ・風通しの良い職場環境を整備し、教職員相互のチェックや連携強化により、事案（セクハラ、パワハラ、マタハラ、体罰、児童生徒性暴力等）の未然防止・早期発見を図る。

(2) 教育委員会での取り組み

- ・毎年4月を「生命（いのち）の安全教育月間」とし、児童生徒が暴力の加害者や被害者、傍観者にならないよう、全市立学校において子どもの権利や暴力から自分の心と体を守るための予防方法等について学ぶ機会を設ける。また、児童生徒の発達段階や学校現場の状況により適した実施方法になるように、適宜見直しを図っていく。
- ・教職員に対し、外部講師による安全配慮義務、性暴力等防止などに関する研修を実施することで、行動の振り返りや新たな気づきの機会を与え、人権感覚を醸成する。
- ・各学校等を訪問し、コンプライアンスに係る取り組みの実施状況を点検するとともに、管理職や担当職員へのヒアリングと併せ、周知・啓発を行う。
- ・実効性のある対策について、児童生徒性暴力等防止対策検討委員会により調査審議する体制を継続することで「暴力のない安全・安心な学校づくり」を推進する。当該委員会からの答申を受けて、各取り組みを実施する（子どもにこにこサポートの充実、第三者による死角点検の実施、不祥事防止のためのセルフチェックの対象者拡充等）。
- ・事案発生時の初期対応フローについて、学校への周知を徹底するとともに、事案発生時には各機関と連携して迅速・的確に対応する。

5 その他

今回の調査結果については、市教育委員会ホームページに掲載する。

【URL】 <http://www.city.chiba.jp/kyoiku/kyoikusomu/kyoikushokuin/index.html>

